

標題 : 自治労組織内参議院議員（比例代表）の活動報告記事（24.3.8）について
発信番号 : 自治労情報2024第0045号
発信日付 : 2024年3月8日
宛先（団体） :
宛先 : 各県本部委員長様
送信者（団体） : 全日本自治団体労働組合
送信者 : 中央執行委員長 石上 千博

連日のご健闘に敬意を表します。
参議院比例代表選挙選出の自治労組織内議員である「岸まきこ」「鬼木まこと」各参議院議員の活動報告をお送りいたします。
つきましては、県本部・単組等の、機関紙・ニュース等でご活用いただきますようお願いいたします。

1. 記事掲載URL（記事Wordファイルおよび写真データを掲載）
<https://remote2.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/cabinet/index?hid=8392&sp=0>

2. 記事内容

◆岸まきこ参議院議員「能登半島被災地視察でいただいた課題を予算委員会で質問しました」

3月4日、早朝から自治労石川県本部のみなさんに同行いただき、能登半島地震で被災した輪島市、能登町等を訪問。地震と火災、液状化による建物や道路の被災状況を見るとともに、役場や避難所、病院等で現状と課題を直接伺う貴重な機会をいただきました。自らも被災者でありながら、地域や住民の復旧・復興のためにまさに不眠不休で業務にあたっている仲間のみなさんにごより敬意を表します。

帰路の七尾市内では、ちょうどこの日から始まった自治労ボランティア支援活動で給水活動に取り組む長野県本部のみなさんともお会いすることができました。

被災地訪問3日後、3月7日の予算委員会で、いただいた課題を政府に質す機会を得ました。お会いしたみなさんの顔を思い浮かべつつ、息の長い被災者支援の必要性、復旧・復興の在り方等について防災担当大臣らに質問しました。また、新たな支援策である「地域福祉推進支援臨時特例交付金」の対象地域が能登地域6市町に限定されていることの理不尽さを指摘しました。これでは、私が視察した限りでも被害の大きさを実感した、同じ能登地域である内灘町や富山県氷見市は対象となりません。明確な根拠なく地域を限定せずに、被害の甚大さに着目した支援の必要性を武見厚生労働大臣に質しました。

被災地のみなさん、そして職務、ボランティアを問わず支援活動に携わるすべてのみなさんとともに、私も被災地の一日も早い復旧・復興のために全力で取り組みます。

◆鬼木まこと参議院議員「困難な課題の解決のためにも政権交代を」

3月6日に国会内で開催された消防政策推進議員懇談会総会に参加しました。岸まきこ参議院議員の司会で進められた総会では、逢坂誠二会長・衆議院議員、石上千博自治労委員長の挨拶に続き、須藤洋典全国消防職員協議会（全消協）会長から、消防職員の団結権の必要性和団結権付与のためには政権交代しかないとの熱のこもったご挨拶がありました。

その後、川北研人全消協事務局長から、救急車の出動回数と救命可能な現場到着時間の関係など現場出勤時と、パワハラ・セクハラと隊員が受けるカスハラの問題などの職場内について、現状の消防職場環境での多くの課題に関する報告を受け、それを踏まえた質疑・意見交換が行われました。

市民の生命・身体などの安全・安心を守るという強い使命感だけでは消防職員が意欲を持って活躍できません。働きやすい職場環境が整ってこそ、仕事へのモチベーションに繋がります。民主的で風通しの良い職場環境をつくるためにも消防職員への団結権の付与が求められますが、現在の政府・与党には全くやる気がありません。困難な課題を解決するには、政権交代が必要です。皆さん、ともに頑張りましょう！